



小さな 11・12月合併号

しんせつ

「小さな親切」運動生駒支部情報・第57巻第662号

令和6年11月1日

「小さな親切」運動

生駒支部

生駒市北新町11番3号

南都銀行生駒支店内

☎74-1131

☏630-0245

定価 100円

この人のことは

小さな親切 10か条のことば

南都銀行東生駒支店 支店長 桑原 大輔

京都市内へ出掛けることがあり、昼食のため飲食店に立ち寄ると行列が出来ていた。その日は酷暑でようやく冷房の効いた店内で待てる順になり、店員の方が「暑い中ご来店ありがとうございます。」と声を掛けてくれるも、私は会釈するばかり、後ろに並んでいた外国人観光客の方も店内に入ることが出来たのだが、片言の日本語で「ドウイタシマシテ」ときちんと返事をされていた。そのやり取りを聞き私は少し後悔に似た思いを感じていた。

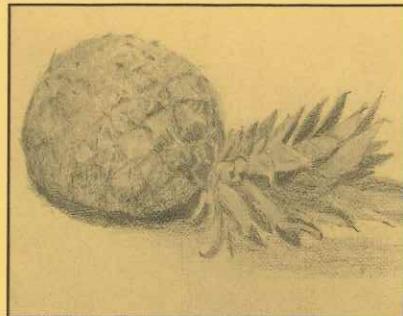
そして、昼食を済ませ店を出ようとしたところ、先ほどの店員が、「今日はかなり暑いのでお気を付けてお出掛け下さいね。ありがとうございます。」と再び声を掛けて下さり、私は「ごちそうさまでした。ご親切にありがとうございます。」と返事をすることができ、少し心が晴れた感じを抱いた。

「小さな親切」とは、「小さな親切」10か条に表されているように、ちょっとした行為で、相手を思いやる人間らしい優しい「こころ」を形に表すこと。

今日の出来事は、店員にしてみれば接客マニュアル通りの対応であったかもしれないが、私にとっては至らぬ自分を見つめ直し、相手への思いやりを言葉に表していくことの大切さを改めて感じた日でもあった。

「小さな親切」10か条の⑤ 紙くずなどをやたらに捨てないようにしましょう。

この人の作品



色鉛筆画

「パインアップル」

上原夏子(真弓)

第56回（令和6年度）生駒青少年「小さな親切」

作文審査を終えて

10月3日、生駒台公民館に於いて、作文の最終審査会を開きました。史上類を見ない酷暑の夏休みでしたが、子どもたちは元気に作文に挑んでくださいました。

今年は、例年のように市内小・中学生全員に募集要項を手渡すことができず、ネット通信スグールで保護者へ送信するシステムになつたので、(市教委の方針にて)子ども達に滞りなく伝達できたかどうか不安でしたが、小・中合計

331編(小8校23編、中6校308編)が寄せられました。(昨年405編)。1次審査を終え2次審査に上がってきた作文を審査員が其々採点し、当日持ち寄り、総合点を出し、討議し、厳選の結果、小学校低学年の部3編、高学年の部3編、中学校の部13編が入賞となりました。

森本正一審査委員長(支部副代表)、峯本伸一俵口小学校長、稻浦寿子生駒市教育相談委員(前生駒台小学校長)、依田麻衣子鹿ノ台中学校長(書面参加)、玉置代

表、宮本副代表、作畠常任委員のもとで審査が進められました。

作文審査は、点数だけでは決め難いのが常ですので、何度も読み返し、作者の意を汲み、審査員の合議を経ての結果ですので、大変な時間をかけて厳選して頂きました。秋期何かと学校行事などご多用の折ながら、ご審査の労を賜り厚く御礼申し上げます。

尚、小・中1位入賞作文は中央本部へ推薦させていただきました。

—宮本しげ子 記—

ナント・なら・ずっと!



南都銀行

小さな親切協力事業所

「小さな親切」 作文を読んで

応募いただいた「小さな親切」の作文を目の前にすると、今年はどんな親切との出会いがあるのかなと、ワクワクした気持ちになります。小学生から中学生までたくさんの皆さん、してよろこばれたり、受けて嬉しかったりした親切や、見て感動したことやできなくて悔しかった思いなどを書いてくれました。読んでいると作者のうれしそうな顔や悔しがっている様子が浮かんできます。

小学校1年生のたにお君は、好きな人にはいっぱい助けてあげたいと思うけれど、苦手な人には何

もできなくなってしまうそうです。そんなたにお君が大阪へ行く電車で席を譲ってもらいます。その時、人にやさしくすることで自分も相手も笑顔になり元気が出てくることに気付きました。たにお君は、1年生ですが自分の考えをしっかりした文章で表現してくれました。

5年生の西川君は鳥取県の大山登山で経験したたくさんの親切を作文にしてくれました。きつい登り道でのすれ違う人からの声掛け、頂上から下りてくる人からの山情報、そして狭い登山道での譲り合うなど。山登りは親切の重なりあって安全に楽しくすることができると書いてくれました。そして、西川君は街での生活も同じだと考えました。山登りというこれまで

にないテーマで親切について考えてくれました。

中学生の宇陀君は、お母さんが困っている生ゴミ処理を何とか軽くしたいとの思いから、「生ゴミ処理器」の制作会に参加します。栄養豊かな土が生まれ、その土が家庭菜園のおじいちゃんの野菜を育て、ご近所の方々に配られて喜ばれました。生ゴミ処理器の制作と管理を指導してくれたボランティアさんから始まった親切が、お母さん、おじいちゃんとつながっていきました。宇陀君は、次は自分が親切のリレーのトップバッターになりたいとまとめてくれました。親切は、人から人へ伝わり、みんなの大きな喜びにつながっていくということがよくわかります。

紹介した作文の他にも、学校生活にまつわる親切や、家族の毎日の生活の中での何気ない思いやり、地域のボランティアさんの活躍、お店や町での心温まる出来事などいろんなテーマで小さな親切の作文も書いてくれました。その作文も書いてくれている人の温かい人柄が偲ばれます。ウクライナやパレスチナでの悲惨な戦争が続くなか、小さな親切の作文にあるように、みんなが優しいこころを持って助け合える世の中になればと願っています。

—森本 正一 記—

土地・建物のことなら
親切・丁寧に
アドバイス致します

株式
会社

第56回「小さな親切」運動作文コンクール発表会を終えて

11月9日(土)コミュニティセンターにおいて、第56回「小さな親切」運動作文コンクールの発表会が行われました。

司会、開会の言葉の後、生駒支部玉置代表より、今まででは作文コ



土地 建物 売買

丸一商事

ンクール応募の際に、チラシを配布していましたが、今年からはスマホでの発信（スグール）となり、どのくらい応募があるのか心配していましたが、お陰様で331編もの応募があり、とても嬉しく思っています。親切というのは、人に對して温かい気持ちや優しい気持ちがないとできないことです。そして、それをいろんな人につながるように皆さんのが広げていってほしいと思います、と挨拶がありました。

次に奈良県本部の久保義隆様からお祝いのお言葉と奈良県539編の中から全国大会で表彰された作

小さな親切協力事業所

〒630-0257 生駒市元町1丁目8番9号
TEL 0743-73-2633~4
FAX 0743-74-4447

6.11.1

「小さな親切」運動生駒支部情報



品は奈良県本部のホームページに掲載されるとのご案内がありました。

次に、生駒市331編の中から13人の審査委員により3回の審査で決定した19名の子ども達に賞状と記念品が手渡されました。また今年度は友好支部である敦賀支部か



ら代表の高畠徹様、事務局長の山本正人様が奈良までお越し下さい人道の港の意味をご説明の後、3名に特別賞「人道の港 つるが賞」を直接表彰して下さいました。



その後、小学校低学年の部、高学年の部、中学校の部の1位の作文を本人からとても立派に朗読されて54名の参加者の方々に聞いていただきました。

こうして第56回発表会を無事に終えることができました。ご協力いただいた各学校の先生方、審査委員の皆様方には厚く御礼申し上げます。 —稻葉早由利 記—

第56回（令和6年度） 生駒青少年小さな親切 作文コンクール入賞者

《小学校低学年の部》

1位 みんなにあげたい

「ちいさなしんせつ」

鹿ノ台小1年 たにおたお

2位 ぼくは はん長

生駒 小4年 石田 優太

3位 ゆう気を出して小さな親切

俵口 小3年 森 彩乃

《小学校高学年の部》

1位 山登りの思いやり

あすか野小5年 西川 心葉

2位 心のヘルプマーク

真弓 小6年 前田 侃諒

3位 思い出の運動会

俵口 小6年 森 悠真

《中学校の部》

1位 親切のリレー

上 中1年 宇陀 洋世

2位 電車で出会った「小さな親切」

上 中1年 谷口 真帆

2位 勇気を出して

上 中1年 休場 慎

3位 1年生の登校リーダー

上 中1年 細木 咲季

3位 小さな親切

上 中1年 長尾 柚希

3位 「ありがとう」

上 中1年 奥田 一慶

佳作 あなたの思う親切とは

生駒南中3年 廣瀬 美月

佳作 おかえり「小さな親切」

上 中1年 浜田あすか

佳作 「ありがとうね」

上 中1年 新保 莉子

佳作 正しい決断

上 中1年 吉井 遼介

佳作 人の優しさに触れて

上 中1年 國井花和乃

佳作 思いやりの小さな親切

上 中1年 堀田 樹里

佳作 立場が変わって気付いた小さな親切

上 中1年 山下道也

特別賞

「人道の港 つるが賞」

・気づいたけど

生駒南中3年 助石 玲奈

・親切にできたこと・できなかったこと

生駒南中2年 田中はんな

・まい子の1年生

鹿ノ台小3年 上地 乙寧

**令和6年度「小さな親切」
作文コンクール
入賞者の紹介**

小学校低学年の部 1位

みんなにあげたい

「ちいさなしんせつ」

鹿ノ台小学校1年 たにおたお

ぼくはいつも、すきなひとにはどんどんサービスしちゃうし、いっぱいいたすけてあげたくなっちゃう。だってそのひとのよろこぶかおがみたいし、もっとなかよくなりたいから。でも、しらないひとやにがてなひとには、だれかほかのひとがたすけてあげるだろう、せっかくしんせつにしてもよろこんでもらえなかっただいやだなとかかんがえて、なにもできなくなっちゃう。

そんなようちえんからのじぶんのまま、ぼくはしょうがっこうへあがった。じゅくにもかよい、しゅうにいちどおかあさんとでんしゃにのって、おおさかへいくようになった。ぼくのせかいはきゅううにひろくなった。あるひ、じゃないのりょうがわでひとりぶんずつしかせきがあいていなくて、おかあさんとぼくはむかいあってはなれ

6.11.1

てすわった。すると、おかあさんのとなりにすわっていたらしくおばさんが「いっしょにすわってあげて」といってたちあがり、ぼくにせきをゆずってくれた。ぼくはこまつていなかったし、そんなことしてもらうひとつようはないんだけど、ほんとうにとってもうれしかった。こころがぽかぽかになって、いっしゅんでおばさんの方がすきになって、おともだちになった。そして、じぶんもこんなふうにできたらいいな、とおもった。

いろんなひとにやさしくすると、いろんなものをいっしょにわけあったり、いっしょにあそんだり、おはなしできたりして、じぶんもあいてもうれしくなる。そして、おたがいがえがおになると、げんきがわいてきて、おたがいにまいにちがもっとのしくなっていくん

だ。だから、もっとたくさんのひとをだいじにして、いつもやさしくしんせつにしようとおもう。そうすればきっと、たのしいじかんや、やさしいひとが、いっぱいふえていくとおもうんだ。

北地区集会の報告

10月15日(火)に12名が参加して、北地区集会が北田原町にある「長命荘」で行われました。初めに、玉置会長が、久しぶりに北地区集会が出来ることの喜びと後期高齢者となり自分事として今日は話を聞かせていただきたいと挨拶されました。

次に、本日の集会にご尽力いただきました林昌弘理事長が、現状と今後の課題などお話しされました

た。なぜ地域共生が必要なのか？人口の減少特に少子化は今後働き手の減少また税収の減少へと繋がっている。それを補っていくには、自助・共助が必要になる。しかし、昔は縁側での世間話から近所の様子を知り得たが、今は個人情報保護のため近所の様子が分からなくなっている。と話されたことがとても心に残りました。

次に軽費老人ホームと特別養護老人ホームの違いや様々な支援内容・サービスについて聞かせていただきました。林理事長がご尽力され平成25年に県下唯一介護保険でのサービスが受けられるようになった軽費老人ホームは、待機者が70名おられること、特別養護老人ホームでは終の棲家とされる方の見取りケアをされてることに驚

くことばかりでした。お話を後、ホーム内を見学させていただきました。想像とは違い、木のぬくもりと日の光であふれ、我が家にいるような工夫がされていて、そこかしこに利用者さん方の作品が飾られていました。林理事長のこだわりと職員の皆さん心遣い・接し方・人との繋がりを大事にされている様子が伺えました。

見学後の話し合では、誰もが生活しやすい環境つくりについて思いや考えを次々と述べられ、とても充実した勉強会になりました。

—作畠美与子 記—

年末反省会のお知らせ

開催日 12月3日（火）

18:00~20:00

会 場 木曽路学園前店

奈良市学園大和町

2丁目125-1

電話 050-5485-0937

近鉄生駒駅から午後5時30分に送迎バスが出ますのでご利用ください。

会 費 6,000円（当日会場にて）

締切り 11月22日（金）

申込先 南都銀行生駒支店

森田次長まで

電話 0743-74-1131

皆様お誘い合わせ、ご参加下さい。お待ちしています。

会員紹介

（敬称略）

◎〈特別会員〉清水泰之

◎〈特別会員〉福中まみ

◎〈団体会員〉生駒市朋生会

◎吉水麻貴グループ

〈特別会員〉西本美美子

〈維持会員〉今木義法、酒井紀子、

庄野澄子、中谷八榮子、西村與里子、野口民治、畠中久史、藤井京子、山西和美、吉田伊佐夫、渡邊藤久、山崎操、西口由利子、中野定子

◎生駒台南・中尾治子グループ

〈維持会員〉三宅多美子、東登代子、松田美智子、富居幸子、中尾治子

古切手ありがとう

（敬称略）

尾山弘子（高山町）、宮本しげ子（生駒台南）、安井宏一（萩の台）、西口由利子（山崎町）、西村與里子（東生駒）、作畠美与子（谷田町）、有山京子（高山町）、西條隆子（辻町）、福田真弓（大和郡山市）、佐藤文代（東京都多摩市）、西明七海（横浜市）、白石澄子（大阪市）、野口民治